

児童・生徒の現状・課題

生徒の学習意欲は高く、話し合い活動など協働的な活動にも積極的に取り組む生徒が多くみられる。しかし、課題に対して計画的に学習することや、学習したことを整理して振り返ることが定着できていない。

**学び続ける力を育むための重点目標**

○学習内容や学習過程を振り返り、自らの課題に向き合い、次の学習を計画的に取り組む姿勢を身に付けさせる。

**児童生徒調査**

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①自分から進んで計画を立てて学習している。	73.5	78.0	
②授業のはじめには、これまで学習したことを振り返ったり、取り組む課題やめあてを確認したりしている。	78.6	83.0	

教員調査

肯定的回答の割合(%)	昨年度	目標(7月)	結果(1月)
①授業では、学習課題や学習過程等、児童が学び方を選択する場面を設定している。	57.1	70.0	
②授業の初めには、前の授業で学習したことを振り返ったり、一単位時間(本時)や単元全体のねらいや流れを明確にしたりして、学習の見通しをもてるようにしている。	76.2	85.0	

具体的な手だて①

単元の学習計画を示し、生徒の学習に見通しをもたせる。また、授業の始まりにねらいを提示し、終わりには学習の振り返りを行うことで、次への学びにつなげる。

具体的な手だて②

短く分かりやすい作業指示を行い、また、ほめて認める指導を心掛ける。

具体的な手だて③

各教科の学習内容に応じて、学習課題、学習形態、学習ツールなど、目的に沿って自ら選択できる機会を設ける。

**校内で共有し、授業改革を日常化するための工夫**

- ・校内研修や職員会議だけでなく、授業の実践や意見を日々共有できるようにする。
- ・明確な指示とほめて認める指導を授業観察の視点として、日々の中で授業を互いに見合うことを心掛ける。

総括(7月)

全国学力学習状況調査の結果はすべての教科において平均を上回っており、学習時間の平均値からも学習意欲が高い傾向にある。その中でも「学習した内容について見直し、次の学習につなげる。」項目に関して、肯定的な意見が全国や東京都の平均と同程度であり、日常の授業で学習した内容について分かった点やよく分からなかった点を振り返らせる場面を設定することを課題とする。また、学習課題や学習過程等を生徒が選択する場面を設定する授業を意識的に取り入れる。

総括(1月)